



市の予算を 徹底チェック

平成28年度予算 に関する 大綱質疑

平成28年度予算案全体に対して、疑問や不明点を明らかにするため、市に説明を求めました。その中から、主なものを掲載します。

高齢者安全対策事業 536万円
本市22%、結城市26%、筑西市52%となっています。市別の利用者数の把握はしていないとのこと。負担割合の見直しに関しては、3市からの市議15人による広域事務組合の定例会で予算案が可決されており、市としても妥当と考えています。

農業委員会費用
任命制になって費用はどうなるのか。
答 報酬は、農業委員数が27から18となり約390万円の減となります。新設の推進委員分を含む総報酬額は324万円の増で、費用弁償を含む総旅費についても約34万円の支出増となります。しかし、原資に県補助金の700万円増が見込まれるので、全体では、前年度比差し引き約340万円の収入増となります。

桜川消防署と大和分署の統合
申請は715世帯にとどまっています。時報の統一は今後の検討課題としたいと思います。
答 本市管内への職員配置増によるところが大きな理由です。
問 近年は集中豪雨などによる自然災害も増えている。
答 こうした状況、岩瀬の桜川消防署は、高速道路の消防対応等もあり手狭な上に、その役割が増している。他方、羽田の大和分署は、震災の影響でプレハブでの執務を迫られている。こうした状況を踏まえ、市長は、この2署を統合するつもりはないか。
答 筑西広域の方から、両署の統合の意向は聞いており、「今より大和寄りと一緒にしたいので、検討してほしい」とのことでした。先に、別議員から地域消

遊湯館負担金 4804万円

問 同負担金は、均等割と人口割で3市が負担しているとのことだが、具体的には幾らずつか。また、鬼怒

川の先にある遊湯館は本市から遠く、本市市民の利用数も少ないと思われる。負担割合を見直すべきと考えらるがどうか。
答 本市の負担額は約4804万円で、負担割合は

参議院選挙費用 2333万円
問 投票所を20カ所にしたことにより、費用は幾ら減るのか。
答 不確定要素もありますが、前回比384万円の減と見えています。

防災無線 859万円
問 無線の難聴地域への戸別受信機の経費は、取りつけ代を含んで1台8万円と聞いている。現在何台が貸し出しされ、あと何台貸せるのか。
また、時報の時間が市内で違っているが、統一すべきではないか。
答 難聴家庭に土砂災害特別警戒区域家庭を加え、1221世帯への貸与を計画していますが、現在の貸与

設を検討しています。先ほど、調整池が不要との指摘ですが、長方地区の活用も重要であり、ここを有効に活用していくためには調整池の整備も必要と考えています。また、今回の予算が昨年の6月補正の調査費による調査を踏まえて出されたものかという点については、調査を逐次進めていく中で、高森地区開発の検討プロセスにおいて病院関連の道路整備となったことにより、調査をしつつ検討を重ねてきました。道路の線形を変えなどの形で検討結果を反映させ、事業計画を見直しながら進めているところです。

防団統合の提案もあったので、その辺りも含めて、前向きに検討していきたい。

伝承館の祭日開館

問 以前から祭日開館を要望してきた。新年度から祭日も開館するのは間違いなのか。
答 4月から、年末・年始の休館日以外は、開館する予定です。

伝建協（でんけんきょう）全国伝統的建造物群保存地区協議会の略称。保存地区の歴史の町並を保存するためのさまざまな情報を収集・蓄積し、これらを会員相互で共有するとともに全国に発信。平成29年度に、桜川市で総会が開かれる予定。

市の長期財政見通し

問 今回、3事業で、最終的に120億円になる巨額予算が上程された。
市長は、少子高齢化等により、歳入が減って義務的経費が増えると「財政の硬直化」が進み、市独自の施策が打てなくなるので、施策を実施するには、「費用対効果」をよく考えて行うとしている。

大和駅北地区開発予算 8億7500万円の積算根拠
問 大型商業施設を長方地区側に呼び込むため、道路や調整池等を先行整備するとし、昨年6月、その測量・設計費として1億2400万円の補正予算を通過させた。
今回の8億7500万円は、高森側の病院のための道路・調整池等の整備費であり、先の補正予算の用途とは異なる。
長方側の調整池は大型商業施設のためのものだったはずで、今回の池は、大型商業施設が来なければつくる必要のない池ではないか。

問 計画に先立つ「費用対効果」分析の有無
答 大和駅北開発計画は、今後どれだけお金がかかるか分からない計画である。しかし市長は、財政が厳しい中、費用対効果を考えて施策を打つと何度も述べている。そこで、この巨大プロ

計は715世帯にとどまっています。時報の統一は今後の検討課題としたいと思います。問 桜川消防署と大和分署の統合
答 本市管内への職員配置増によるところが大きな理由です。問 近年は集中豪雨などによる自然災害も増えている。答 こうした状況、岩瀬の桜川消防署は、高速道路の消防対応等もあり手狭な上に、その役割が増している。他方、羽田の大和分署は、震災の影響でプレハブでの執務を迫られている。こうした状況を踏まえ、市長は、この2署を統合するつもりはないか。答 筑西広域の方から、両署の統合の意向は聞いており、「今より大和寄りと一緒にしたいので、検討してほしい」とのことでした。先に、別議員から地域消

問 ひな祭りのときに、伝建地区のパンフレットを伝承館にもらいに行ったところ、ありませんとのことだった。今回提案の予算に、同パンフレットの印刷費を計上しているのか。
答 パンフレットの作成費は計上していません。
問 平成29年5月、本市で伝建協の全国大会を開くというのに、その伝建のパンフレットがなくていいのか。市長の答弁を求める。
答 来年度の伝建協総会に向けてパンフレットは必要だと思っているので、前向きに検

問 今後、高齢化に伴って介護・医療費の負担も変わってくる。合併特例債だけでなく、これらも織り込んだ長期財政見直しを、市は出すべきではないか。
答 医療費等については、国・県補助等の対応がさまざまであり、その都度見て

問 計画に先立つ「費用対効果」分析の有無
答 大和駅北開発計画は、今後どれだけお金がかかるか分からない計画である。しかし市長は、財政が厳しい中、費用対効果を考えて施策を打つと何度も述べている。そこで、この巨大プロ

計は715世帯にとどまっています。時報の統一は今後の検討課題としたいと思います。問 桜川消防署と大和分署の統合
答 本市管内への職員配置増によるところが大きな理由です。問 近年は集中豪雨などによる自然災害も増えている。答 こうした状況、岩瀬の桜川消防署は、高速道路の消防対応等もあり手狭な上に、その役割が増している。他方、羽田の大和分署は、震災の影響でプレハブでの執務を迫られている。こうした状況を踏まえ、市長は、この2署を統合するつもりはないか。答 筑西広域の方から、両署の統合の意向は聞いており、「今より大和寄りと一緒にしたいので、検討してほしい」とのことでした。先に、別議員から地域消

計は715世帯にとどまっています。時報の統一は今後の検討課題としたいと思います。問 桜川消防署と大和分署の統合
答 本市管内への職員配置増によるところが大きな理由です。問 近年は集中豪雨などによる自然災害も増えている。答 こうした状況、岩瀬の桜川消防署は、高速道路の消防対応等もあり手狭な上に、その役割が増している。他方、羽田の大和分署は、震災の影響でプレハブでの執務を迫られている。こうした状況を踏まえ、市長は、この2署を統合するつもりはないか。答 筑西広域の方から、両署の統合の意向は聞いており、「今より大和寄りと一緒にしたいので、検討してほしい」とのことでした。先に、別議員から地域消

病院問題

新中核病院の機能
問 新中核病院は心疾患・脳疾患に対応できる、救急